

令和6年第2回大山町議会定例会一般質問

令和6年3月13日・14日

通告順	議席 番号	氏名	質 問 事 項
1	11	杉谷 洋一	1. いつまでも住みたいと思える町 2. 小中学生の体力は
2	10	大森 正治	1. ごみの減量化はCO ₂ 削減に貢献
3	13	吉原 美智恵	1. 健康寿命を延ばす取り組みは
4	6	池田 幸恵	1. 町民と協働のまちづくりを
5	4	島田 一恵	1. これからの自治会について
6	2	西本 憲人	1. 中山地区の人口減少対策は
7	3	豊 哲也	1. 不登校とフリースクールについて 2. 新型コロナワクチン接種について
8	7	門脇 輝明	1. 町政の課題に於ける奨学金返還支援制度の位置づけは 2. 防災対策の見直しは
9	15	野口 俊明	1. 防災対策・安全対策は11願か
10	1	小谷 英介	1. 大山参道沿いの廃屋を撤去し「キッチンカーマルシェ」を進めないか
11	12	近藤 大介	1. アウトドアライフ構想について

令和6年2月13日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号 11番 大山町議会議員 杉谷 洋一



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. いつまでも住みたいと思える町</p> <p>いつも仰ぎ見る美しい大山の情景は心が穏やかになり、日常生活の中で豊かな心を育み、豊かな自然環境のなかで健康や暮らしが快適で便利になったと思える政策を展開することが必要である。体と心が充実し、誰もが大山町は「いつまでも住みたい」と誇りを持ちながら生活ができ、高齢社会に適した、安心・安全で生き生きした元気な町を目指すべきと考えるが町長の所見は。</p> <p>① 役場に困りごと相談窓口対応室の設置は。 特に、高齢者が色々な問題に対して、相談先や解決方法などが判らないとき、何でも気軽に相談できる窓口の設置が必要である。</p> <p>② 通学路の事故を未然に防ぐため、大山口駅から大山西小までの歩道整備は。</p> <p>③ 集落入口や交差点等の消失した停止白線等の補修改善は。</p> <p>④ 集落名表示の未設置等の確認と補修・設置、及び集落入口等の外灯の設置は。</p> <p>⑤ 集団検診の受診状況及び受診率向上の取り組みは。 過去より受診率は向上しているが、県内では低く、対策はどのように考えられているのか。</p> <p>⑥ 帯状疱疹は年齢による免疫力低下などで、3割の人が発症すると言われ、重症化を未然に防ぐためのワクチン接種の助成は。</p>	町長



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p data-bbox="204 282 576 320">2. 小中学生の体力は</p> <p data-bbox="197 398 1334 551">子どもたちの体力低下は、生活環境の変化による体への悪影響、また積極的に運動やスポーツ外遊びをさせる保護者が少なくなっているなどが原因と言われ、子どもの体力向上の取り組みが必要と考える。</p> <p data-bbox="197 573 1329 667">スマホやゲーム機などで、屋内にいる機会が多く体力低下につながっているが、運動など体力強化の現況と対策は。教育長の所見は。</p>	<p data-bbox="1361 282 1458 320">教育長</p>

(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和6年2月28日

大山町議会議長 米本隆記 様

議席番号 10 番 大山町議会議員 大森正治



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. ごみの減量化は CO₂削減に貢献</p> <p>私たちが日常生活のなかで出している可燃ごみは、休日以外毎日ごみ処理施設で燃やされている。物を燃やせば必然的に CO₂が排出される。それが過剰になると、植物も吸収しきれなくなって、上空にどんどん溜まっていく。それはやがて、「温室効果」をもたらし、干ばつ、洪水、夏の猛暑、暖冬などの異常気象をもたらし、北極、南極の氷が解けて海面上昇さえ危ぶまれている。まさに、気候危機は地球危機である。</p> <p>これを打開するには CO₂削減しかない。排出量の多い企業の努力は当然必要だが、私たちが日常生活の中で本気で取り組むことが求められている。</p> <p>その一つが家庭から出すごみの減量化、可燃ごみを限りなくゼロに近づけることである。そのためには、「ごみは資源」という発想で分別を徹底することである。それを進めるリーダーは自治体である。ところが、大山町では「リサイクルは家庭から」と謳いながら、その実態は不十分である。その典型的な例が軟質プラスチックを分別、リサイクルせずに、可燃ごみにしていることである。これを分別しリサイクルに回したり、生ごみなど現在可燃ごみにしているほかのごみも資源化したりすれば、現在、ごみ総排出量の4分の3を占める大山町の「可燃ごみ」はかなり減量できるはずである。</p> <p>燃やすごみの減量化は、CO₂の削減効果だけでなく、ごみ処理経費の削減やクリーンセンター焼却炉の長寿命化、修繕経費の削減にもつながる。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 大山町のリサイクル率は2020年(令和2)で31.5%だが、最新のデータではいくらか。</p> <p>(2) 大山町ごみ処理基本計画によると、リサイクル率の目標値を2031年度(令和13)までに37.7%としている。そのためにどんな具体策を検討し実施しているか。</p> <p>(3) リサイクル率を上げる早道は、まず軟質プラスチックを可燃ごみに分類しないで、資源ごみに分類することだと考えるがどうか。</p> <p>(4) ごみ問題は環境問題であるという視点から、町民だれもが環境問題に関心を持ち地球環境の守り手として実践していくために、大山町も「ゼロカーボンシティ宣言」自治体の仲間入りをしないか。</p>	町長



(注) 的確な答弁がえられるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員長、選挙管理委員長、監査委員等とする

大山町議会議長 米本隆記様

議席番号 13 番 大山町議会議員 吉原美智恵



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 50 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. 健康寿命を延ばす取り組みは</p> <p>健康寿命とは、健康上の理由で日常生活が制限されることなく生活できる期間の事であり、日本人の平均寿命は年々延びているが、健康寿命との差は、男性は9年、女性は12年の開きがあるという国民生活基礎調査での結果も出ている。</p> <p>健康寿命が短いと幸福度が下がるばかりか、家族に看護や介護で負担がかかり、医療費の圧迫にもつながる。</p> <p>今、健康な状態から要介護状態に移行する中間の段階での対策として、フレイル予防の取り組みも進んでいるところであるが、大山町の取り組みを問う。</p> <p>① フレイル予防として運動、栄養、社会参加がポイントとして呼びかけられているが、対策は</p> <p>② 社会的側面としての生涯教育や生涯スポーツの取り組みは</p> <p>③ 認知症の予防と対策は</p> <p>④ 地域自主組織とくらしの保健室との連携は</p>	<p>町長</p> <p>教育長</p>



(注)的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和 6年 2月 27日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号 6番 大山町議会議員

池田 幸恵



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間

50分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1、町民と協働のまちづくりを</p> <p>大山町のイベントについてよく問われることがあるが、町内でのイベントを一括表示や、検索できる手段が見つけられない。イベントの開催がかぶったという声をよく耳にする。約10年前の未来会議でもテーマになった課題である。</p> <p>せめて町内イベントや行事だけでも確認ができればと思うところだが、町のホームページの行政カレンダーも2023年の5月からは空欄のままである。</p> <p>そこで以下のことを問う。</p> <p>① 行政カレンダーなどHPやSNS発信の管理体制作りはできているのか。</p> <p>② だれもが大山町を楽しむ手段の一つとして、町内行事も掲載しないか。</p> <p>③ イベントへの後援・協賛・共催などの基準はあるのか。</p> <p>④ 業務とし予算を付け、イベント広報などの協力は行わないか。</p>	町長・教育長



(注)的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和6年2月28日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号 4 番 大山町議会議員 島田一恵 印



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 50分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. これからの自治会について</p> <p>新居に引っ越したら「自治会」について耳にすることがあると思います。何となく知っているけれどよくわからない、今までは加入したこともなかった。と言う人もいるかもしれません。</p> <p>自治会は各地域をより住みやすくする為に活動する団体で、これから長くその町に住むのであれば加入する利点もたくさんあります。ですが、本町の現状においては自治体をやめた地区も出てきました。また、集落の中でも数名の人が自治会を退会している地区もあります。今年の1月に起きた災害などの報道を見ていると、近所住民が助け合い、命をとりとめた人もおられます。</p> <p>いつ、この様な災害に遭うかもわからない中で、行政での自治会についての質問をします。</p> <p>① 自治会に交付しているコミュニティ活動補助金の有効活用は。 ② 自治会に入っていない地区の人に対してのゴミ回収は。 ③ 自治会に入っていない人に対して文書はどのように届けているか。 ④ 移住者が自治会に加入するメリットとデメリットは又年間の自治会費の説明など出来ているか。 ⑤ 自治会に加入している率は。 ⑥ 集落の消防団との必要性和問題点は。</p>	町長



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和6年2月28日

大山町議会議員 米本 隆記 様

議席番号 2番

大山町議会議員 西本 憲人 印



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. 中山地区の人口減少対策は</p> <p>3町合併から9年が経ち、大山町はひとつになったがさまざまな町内活動、学校区域等ではまだまだ旧町単位で行われることが多い。</p> <p>3町の中でも一番人口が少なく、子どもの数が減っていつている中山地区が心配である。人口減少対策をどのように課題として捉え、どういった施策で解決していくのか。</p> <p>(1) 中山地区の今後の人口減少対策についての課題・解決策・戦略があれば教えてほしい。(近年の出生数などの数字も示してほしい)</p> <p>(2) 分譲地整備(官民どちらでも)の必要性・予定はあるのか。</p> <p>(3) 町営住宅整備の必要性・予定はあるのか。</p> <p>(4) 空き家活用では、3地区の中でも中山地区が移住が盛んな印象があるが実情はどうか。(3地区の近年の空き家登録件数、マッチング件数が分かれば数字も教えてほしい)</p> <p>(5) 中山地区の保育園、小学校、中学校の統合や廃園や廃校、複式学級などの予定はあるのか。また何人以下になったら廃園(廃校)や合併、複式学級(その他の措置)を行うのか。</p> <p>(6) 爆発的に出生数が増えることはないので、人口社会増につながる移住を増やす施策が妥当だが、なにか対策・戦略はあるのか。</p>	<p>町長 教育長</p>



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和6年2月28日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号 3番 大山町議会議員

豊 哲也



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間

60分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. 不登校とフリースクールについて</p> <p>去年5月にはCOCOLOプランが施行され、今年1月には大山町初県認可のフリースクールが誕生し、不登校・フリースクールの環境が大きく変わった。この機に不登校・フリースクールへの本町の考え方を確認し、政策提言する。</p> <p>(1) 不登校等の問題として一般的に一番大きな問題に挙げられるのが、当事者が相談窓口やフリースクールの情報までたどりつきにくいという現状がある。リーフレット等で周知する予定はあるか。</p> <p>(2) フリースクールの民間事業者や親の会などとの連携は取れているか。またそれを踏まえた相談窓口の対応は職員に周知できているか。</p> <p>(3) 2017年に施行された教育機会確保法、昨年5月に施行されたCOCOLOプランに対しての本町の考え方と行ってきた施策は。</p> <p>(4) フリースクールは全く収益があがらないという現状がある。運営面の行政としてのサポートで建物を用意したり、休職中の教員を紹介しボランティアで働いてもらうなどの事例があるが、本町の今後の方針は。</p> <p>(5) 現在、全国には約30万人の不登校生徒児童がいるが、その方達を対象とした大山の自然を生かしたアクティビティなどに補助する考えはないか。</p>	<p>教育長 町長</p>



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p data-bbox="209 215 842 253">2. 新型コロナウイルスワクチン接種について</p> <p data-bbox="220 331 1332 483">(1) 厚生労働省が発表する新型コロナウイルスワクチン予防接種健康被害救済制度の認定数・死亡認定数が約3年間で過去45年間の新型コロナウイルスワクチン以外のものを上回っている事実を認識しているか。</p> <p data-bbox="220 562 1332 658">(2) 本町では新型コロナウイルスワクチンの危険性をどのように考えているか。</p> <p data-bbox="220 736 1310 775">(3) 今後、新型コロナウイルスワクチン接種の接種券は申請制にしないか。</p> <p data-bbox="220 853 1332 949">(4) 今国会（令和6年1月26日召集第213回通常国会）において、地方自治法の一部を改正する法律案が提出されている。</p> <p data-bbox="285 976 1332 1211">この改正案では、「大規模な災害、感染症のまん延その他これらに類する国民の安全に重大な影響を及ぼす」場合に際し、「その事務処理について国民の生命等の保護を的確かつ迅速に実施するため講ずべき措置に関し、必要な指示ができる」こととされている。</p> <p data-bbox="295 1245 1332 1346">国の地方公共団体への指示が強化されることは、地方自治の本旨が侵害される懸念がある。</p> <p data-bbox="295 1373 1332 1469">本町ではこの法律案について把握していたか。また首長として地方自治の本旨を守る動きをいかに取るのか。</p>	町長

(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和6年2月28日

大山町議会議長 米本隆記様

議席番号 7番 大山町議会議員 門脇輝明



一般質問通告書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60分)

質問事項と要旨	質問の相手
<p>1 町政の課題に於ける奨学金返還支援制度の位置づけは</p> <p>町政の目標は総合計画に示されている「楽しさ自給率の高いまち」の実現である。この目標を実現するために6分野における14の戦略があり、そして、その戦略の下に、具体的な狙いをもって戦術としての政策事業が実施されていると考えている。</p> <p>そこで、次の点について伺います。</p> <p>①総合計画に掲げられた戦略上の課題に於ける、戦術としての「奨学金返還支援制度」の位置づけと狙いは何か。</p> <p>②「奨学金返還支援制度」戦術としての目標数は。</p> <p>③「奨学金返還支援制度」利用者数の実績は目標に比して十分か。</p> <p>④政府は大学の授業料無償化など、高等教育に係る経済的負担の軽減に取り組んでいるが、本町の移住定住・人口減少対策に対する影響の有無は。</p> <p>⑤大学等が所在する都市部にあっては賃金の上昇に比例して生活費も上昇し、これを賄うために必要な奨学金という借金も増加するが、本町のような人口の少ない地域は給与水準が低く、償還金の返済が大きな負担となり、結婚や子育てのハードルとなっていると考える。「奨学金返還支援制度」の拡充や「給付型奨学金」の創設を検討できないか。</p>	町長
<p>2 防災対策の見直しは</p> <p>本年は年頭から大きな自然災害や事故が発生した。「昨日は人の身、今日は我が身」である。この機会に本町の災害対策の一端を町民の安心のために確認しておきたい。</p> <p>①能登半島地震から2か月が経過したが、この間、本町の地震対策の見直し作業を行ったか。見直したところが有れば伺いたい。</p> <p>②震源地に近い地域では、道路が寸断され孤立した高齢者の多い集落が多数発生し、救助の手がなかなか届かない実態があった。本町において、地形的に孤立の可能性がある集落はリストアップしてあるか。</p> <p>また、孤立しても相当期間耐えることができる物資の供給体制はできているか。</p> <p>③上下水道の震災対策はできているか。特に液状化しやすい地域は把握しているか。</p> <p>④海岸線に近い地域について、津波避難先の指定や避難経路の周知は徹底しているか。</p>	町長



(注)的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和6年2月29日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号15番

大山町議会議員

野口俊明



一般質問通告書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60分)

質問事項と要旨	質問の相手
<p>防災対策・安全対策は順調か</p> <p>① 防災の基本的考えと防災対策は避難訓練状況等も含めて</p> <p>② 災害時の対応や応急対策についての考えは、</p> <p>③ 復旧対策は</p> <p>④ 現在不安箇所や不安事例はあるのか、</p> <p>⑤ 教育委員会として、幼児児童生徒学校について上記①～④も含めての対策はどうなっているのか、(委員会関連も含む)</p>	<p>町長 教育長</p>



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和6年2月29日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号 1番

大山町議会議員 小谷 英介



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1)大山参道沿いの廃屋を撤去し「キッチンカーマルシェ」を進めないか</p> <p>本来、大山町の「食」は大きな魅力です。</p> <p>ところが現在、大山町の観光案内所で、観光客が「どこで食事ができますか？」と尋ねても、紹介できるお店が少なく、観光客をがっかりさせてしまっています。</p> <p>もちろん、もっと多くの多様な飲食店ができれば良いのですが、エリアの特徴として、天候や季節によって訪れる客数が大きく変動するため、店舗の経営を安定させることは容易ではありません。かつては飲食店だったところも廃業して空き家になっているところもあるし、代わりとなる新規参入も生まれにくい状況になっています。結果的に、食資源に恵まれている大山町の一番の観光地である大山寺エリアにおいて、食事を楽しめる場所が限られているという、町としても、不都合な状況になっています。行楽シーズンには、少ない店舗に殺到し、キャパオーバーを起こして、ランチ難民も起きてしまっています。</p> <p>そこで行政や大山観光局が主導し、「キッチンカーマルシェ」を推進することで、この問題に対する一つの解決アプローチとなるのではないのでしょうか。具体的には、大山参道沿いなどで景観的に問題となっている廃屋を何軒か撤去し、キッチンカーが出店しやすいような広場に整備します。キッチンカーなら、天候が良い日や週末など、需要が高まるタイミングに合わせて出店することが可能です。</p> <p>幸い、コロナ禍を経て、県内でもキッチンカーが増加しており、好条件の出店場所が求められています。整備の際には、電源や水回りの充実がカギになりそうです。マルシェのコンセプトやルールを明確にし、地域経済循環につながるように配慮しながら、魅力的な場づくりを目指すことが大切です。料理だけではなく、アート、野菜、果物、クラフト、体験型のブースも織り交ぜて、週末マーケットや朝市などが実現できれば、旅館などの宿泊客の満足度向上にもつながりやすいと思います。</p> <p>キッチンカーであれば、店舗を持たない人や、まずは副業でチャレンジしたい人にもチャンスがあるし、そのうちそこから人気店が出来れば、空き家や空き地を活用して出店という夢もあります。</p> <p>この構想を進めるのはどうか。</p>	町長



令和6年2月29日

大山町議会議員 米本 隆記 様

12番 大山町議会議員 近藤 大介



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. アウトドアライフ構想について</p> <p>(1) アウトドアライフ構想とは何か、目的や、主な取り組みは。</p> <p>(2) アウトドアライフ構想は、町民に理解されていると感じているか。</p> <p>(3) アウトドアライフ構想を町民に理解してもらうため、町民の主体的な活動を増やしていくため、どのような取り組みを行っているか。</p> <p>(4) 関連する自転車活用推進計画について、町民の理解は進んでいると感じているか。また、町内主要道路の自転車走行にかかる安全対策は進んでいるか。</p>	町長



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。